



明野ふくろう便



明野中央病院広報誌

vol.10

日本医療機能評価機構 認定病院

地域医療連携室より

介護保険の改定について

今年4月より介護保険のサービス事業者に支払われる報酬が新たに見直されました。今回の改定は「介護従事者の処遇改善」と「質の高いサービスを安心して安定的に利用できるようにすること」の二点にポイントが置かれています。本改定では、有資格者やキャリアのある職員がいる介護保険サービス事業所に報酬が「加算」される仕組みとなっており、職員の給与とサービスの向上をねらった内容となっております。

加算となれば、当然サービスをj利用している方の自己負担額の増加にもつながります。

今までのサービスがケアプランどおり利用できるのか、利用料金にどれだけ変化があるのかなど、サービス利用者からの不安の声も聞かえてきます。

サービスを利用している方は、まずは担当のケアマネージャーに相談し、変更点を確認しながらケ

アプランを見直してみることをお勧めします。

また、今年度は介護認定の調査基準についても変更がありました。この変更で「介護度が下がったので今までのサービス回数が減った」、「重く出たので自己負担が増えた」などの理由で日常生活に支障が出ないよう、更新の認定結果が従来のものと異なった場合は、従来の要介護度でのサービスの利用ができる経過措置が設けられていますので、この点についても担当のケアマネージャーによくご相談下さい。

医療福祉相談は

地域医療連携室へ

TEL代表097-558-3211
直通097-558-6181



看護の日 中学生二日看護師体験



▲集合、期待に胸をふくらませて

5月12日はナイチンゲールの誕生日にちなんで看護の日とされています。

当院では看護について関心を高め



▲薬剤部にて薬の勉強

実施を体験をします。今年も明野中学校三年生の生徒14名が参加し、病院



▲ベッドメイキングの実践

の足浴では、生徒たちは看護師の指導を受けながら、慣れない手つきで足を洗い、最初は緊張していましたが、患者さんから「ありがとう」と言われ、喜んでいました。



▲手術室にてパブリカを使った手術体験

手術室では専用の服に着替え、内視鏡を使ってパブリカの種をはさみ状の小さな器具で取る作業に挑戦しました。参加した生徒たちは、看護師だけでなく、医療関係のさまざまな職種に興味を持ち、将来の夢をふくらませました。

の各部門の見学や血圧の測り方・足浴の手伝い・リハビリや手術室の体験をしました。

特に興味を持ったこと、楽しかったことは何ですか？

一日看護師体験を終えてアンケート結果

・お昼ごはん（患者食）を食べたけれど、普通の食事ではびっくりしました

・足浴をした患者さんから「ありがとう」がとう気持ちよかったです。と言われうれしかったです。

看護師など、医療の仕事についてどう思いますか？

・病院には看護師以外にもいろいろな仕事があることが分かりました。
・患者さんを救って元気にするのは、とてもいいと思います。看護師になりたいと思いました。
・看護師さんはすごいなと思っていましたが、今回体験してみて、やっぱり看護師さんはすごいと思いました。

INFORMATION

診療科目

内科・外科・消化器科・肛門科
リウマチ科・整形外科・形成外科
リハビリテーション科
麻酔科(森 正和)

受付時間

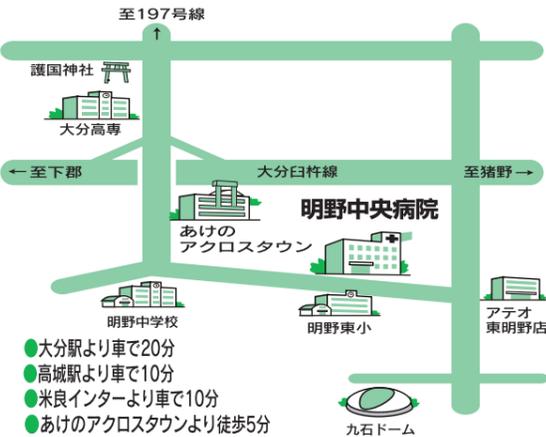
月曜日～金曜日 8:30～11:30
14:00～17:30
土曜日 8:30～11:30
日曜日・祝祭日 休診

病院理念

医療・介護を通じ、
患者さんの生活の質の向上に努める

基本方針

- 一、家庭的な優しい医療・介護の実施に努めます
- 一、地域の皆様から安心・信頼される病院づくりに努めます
- 一、患者さんひとりひとりの権利を尊重するように努めます
- 一、たえず医療・介護の質の向上に努めます
- 一、地域の健康増進・病気の予防に努めます



医療法人社団 唱和会

明野中央病院

日本医療機能評価機構 認定病院

発行日 2009年6月

〒870-0161 大分市明野東2丁目7番33号
TEL 097-558-3211(代表) FAX097-558-3709
E-mail akenohp@fat.coara.or.jp
http://www.coara.or.jp/~akenohp

新任医師紹介

当院では、整形外科、形成外科を中心に多くの手術を行っています。全身麻酔が必要な手術では、麻酔科専門医が麻酔を行っています。麻酔科医は全身麻酔中、呼吸や血圧などの状態を常に監視し、異状があれば迅速に対処して、全身状態が安定化するよう管理しています。また、麻酔から覚めたあとも観察を続け、痛みへの軽減に努めています。



氏名 森 正和 (もりまさかず)
 専門分野 麻酔科一般
 資格等
 ・麻酔科標榜医
 ・日本麻酔科学会 専門医
 ・日本集中治療医学会 専門医
 趣味・特技 犬の世話、エコ運転
 患者さんへのメッセージ
 無事安全に手術を終えられますよう全力を尽くします。

第21回糖尿病相談会

平成21年2月27日(金)第21回糖尿病相談会を開催しました。

糖尿病の治療には、治療に望む患者さん自身の糖尿病に関する知識が必要とされます。

糖尿病の治療には3本柱(食事・運動・薬物)がありますが、食事療法は第一の柱です。今回は糖尿病の基本的な食事療法について管理栄養士が説明を行い、一日の必要エネルギーを実際の生活活動レベルに照らし合わせてそれぞれ計算してもらい、最後にクイズ形式で糖尿病に関する問題を解いてもらい、木下院長による回答・解説で参加者の糖尿病に対する知識を深めていただきました。



▲1日の必要エネルギーを計算中

真打ち登場で初笑い にごやかに新春明野寄席

県南落語組合大分支部の噺家(はなしか)の方々4名をお招きし、「新春明野寄席」を行いました。

会場の1階リハビリテーションセンターに臨時の高座を設置し、入院患者さん、ご家族、近隣住民の方々など約100名のご参加をいただきました。和服姿の噺家の皆さんがにぎやかなお囃子とともに高座に上がり、「初天神」、「老婆の休日」、「千早振る」、「牛ほめ」などの古典落語を披露、身振り手振りを交えた熱演に会場からは大笑と拍手喝采が送られました。



▲県南落語組合の皆様が熱演

真多呂人形のふくろうくんが仲間入り



▲「ふくろうくん」と仲間たち

大分市城東町で真多呂(またろ)人形の教室を開いている鈴木真寿寛先生より、当院のマスコットキャラクター「ふくろうくん」の人形をご寄贈いただきました。

真多呂人形とは、260年の伝統ある木目込み人形の技法を継ぎ現代に伝える伝統工芸です。先生の教室には、雛人形、五月人形をはじめ昨年の大分国体のマスコット「めじろくん」など、さまざまな種類の人形が飾られています。今回「ふくろうくん」の制作をお願いしたところ快くお引

回復リハビリテーション 病棟学会発表 in 大阪



▲加藤理学療法士が発表

大阪国際交流センターにて全国回復リハビリテーション病棟連絡協議会第13回研究大会が開催され、当院リハビリテーション部と看護部より日頃の研究成果の発表を行いました。

リハビリテーション部より『当院における在宅復帰に向けたアプローチの検討〜FIMを通して〜』と題して、患者さんの在宅復帰のためには、心身機能と住宅環境をすり合わせ、特にトイレ・入浴動作や環境作りによりアプローチすることで、円滑な在宅復帰につながることを発表しました。

き受けいただき、ふくろうくんだけでなく可愛い仲間たちも作っていただきました。大変すばらしい作品をご寄贈いただきありがとうございます。



▲左が鈴木真寿寛先生

第4回ガーデンパーティー

季節は春、今年も病院ボランティアの皆様のご協力のおかげで、2階ウッドデッキにて黄色・紫・白・ピンクと色とりどりの春の花々が目を楽ませてくれます。

花々を鑑賞しながら恒例のガーデンパーティーがボランティアの会主催にて開催され、患者さんや御

看護部は「中心性頸髄損傷患者を在宅復帰へと導いて」と題して、全面介助を要した患者さんを各スタッフ間の協力により在宅復帰へと導いた取り組みを発表しました。



▲看護部 高橋・甲斐が発表



※発表を行ったスライドはホームページで閲覧することができます。(PDF形式)
<http://www.coara.or.jp/akenohp/topics/090303.html>

見舞いの方などが楽しいひとときを過ごしました。



▲春の花咲くウッドデッキ